

平北道評議會【第二日】

[illegible]

不能か可能か
北滿洲と養蠶

[illegible]

石炭特賣制の廢業

して居る。朝鮮人の窮乏は福に
なつてゐる。一、朝鮮生糸の輸入
がはたつて居る。二、朝鮮生糸
と蠶桑とを比較すると云ふ所の蠶絲
の量が従つたらば、云々等々も
ない山嶺地帯の農民に於ては所収
で蠶桑が天竺の農民より幾分か
多くである。三、因に蠶桑は草木
の織に使用し、布の大ききものは
穿り易く、衣服のそれより被
たりたる面積から見て、暖けにし
て、朝鮮服の弊疾より見ても可
なりである。

「大連」産物検査協会の特種陳述に
記しては毎年約五萬頭以上入るとい
へるが越前縣に就いて今年中に登
るもの何頭か統計を載せてゐるのは實
際である。越前縣が四萬餘頭陳述
を發表した理由は

- 一、獲鹿町直接小販貿易
- 二、獲鹿町直接小引を爲す
は其用い場へ少し小販買入を
限つて射撃の調治を計る

と云ふに止つたのであるが今や獲
鹿町の市街に二萬頭以上の

目下滿鐵に於て調査中

りと共に、營業廳は隨處に去る
コードをつけて居る。十一月八日
の極度相場は一千二百十四圓
で昨晩レコードは十二百一十一
圓の九十五圓に比れば頗ろ
可き増加で、據該局の昨晩度に
して六七七の増加である。

北鮮大豆を

内地車場支那本部へ

〔消息〕中國重工業部駐滿鐵經濟顧問

大連油房買收

[illegible]

全北主腦部の異動

發表前後の噂さ取りノ

出立遊各局盛で、愛媛と
佐賀縣に吹捲く。愛媛に
も心腹、變からし中世、手
かりと仲盛で通つて其日
つて、愛媛遊は常定、
が都賀は是處者は、今日か
かた、都賀をのみ待つてあぐ
る所に、都賀の者がある
に、對して發射の事下す

ける勇進▲唯く、開關の府殿も
野望▲登州縣長柳村氏、記北江
中央縣長原村大に働いたのだ
一入だ、非、愛媛縣、遊給に
遊したての印遊▲飛龍縣長も
遊戦に遊給と勇進するとか▲野
山の野上、遊給

進級を待つ人々

ることは疑ひを入れず暗に依る
と北の知事に任命されるといふ

[illegible]

同本部との了解の下に、
並を財源用として内地

[illegible]

地方の模範

[illegible]

【釜山】歳末の押し迫るに連つ

[illegible]

盜賊離にかゝらない様要心す
肝腎で一般においても充分戸

[illegible]

四日より罷留あるべき五
 合、穀や土砂の除去等
 候なる所があるは争へ

[illegible]

り感謝の意を表して居る。更に之を具體的に開陳

平岡局書記	大木 恒吉
藤州局長	田中爲四郎
藤州局技	古谷 定治
藤州局書記	古谷 定治
界局長	
局員長心得者	

と云へば、**威は神威の威**なり。威を以て全く完成の處に達し

浦南

[illegible]

▲**奨励** 延宝府の調査に依
るに、**延宝府**の調査に依
るに、**延宝府**の調査に依

[illegible]

支那婦人の

[illegible]

人々が起つて練兵廠に就て歸した

地方改良功勞者

表彰

【新潟】平北村に於て稻作の附屬事業として炭礦を掘削するの基礎を發行する事となつた。

【大阪】大阪府東成郡管下松原町の二階層地下火水と銅含有を起して本館前に多大の貢獻をなした石井三郎殿が職名大衛氏を功勞者として表彰せられたる事を一致で可決確定したものに依り、

▲光州新聞會「光州今同勇れたる元余知事山田村務及忠臣田川に榮格たる石氏の爲官其有處は六百五十圓に充て電氣堂にて遊樂所開辦」と

▲六ヶ宿會「釜山道に茶の記のためによつて面を細く分けたる四十餘年上つ會員は其例を出すに當り此時から西商工俱樂部に關

地方人事

るもので僅二三に過ぎず何れ七日目の休會を利用して舉行

[illegible]

で就職しようとするときから
者があるので、ヨロ／＼とヨロ

と小刀でくさり足を刺して逃
がられてしまつた後で綱が付いて
見ると横中してゐた二十餘人入の

午後四時から各會室に於ける
邊別會を主催する事となる

(新發)

<p>冷感純粹 風味卓越</p> <h2>ミツワ白胡麻油</h2> <p>みつわ。ごまのあぶら。 天下を冠して潤滑を誇るものは、其の能が消化吸収されぬゆゑである。ミツワ白胡麻油はよく絞られた天ぷらは、風味が佳く、脂も固結しぬから、暖室で又は下痢する等の薬が無い、これ従來の他と其の廉潔に全く異なる酒化吸収易の「冷感純粋」白胡麻油であらうである。</p>  <p>用おふ天 用タラサ 用味調 用油料食</p> <p>一樽價入 金壹圓拾錢 一升價入 金壹圓六拾錢</p>	<h2>香囊</h2> <p>みつわ。にはひそめ。</p> <p>①香囊の材料は鐵樹、通氣とを織り合つた布の上に、洗淨したるへん太極星の模様の紙を貼附し、その中心の點を縫合して蓋物たること、其の袋の中に入れておくことの特點がある。衣類を着る前に仕舞ふ時、然し袋づゝを入れたれば、衣類の他に香して除虫の特長があり、常に箱に入財物に入れ置けば、毒も蟲害もなく、香氣を散らし、貴重品、其の他貴重品の保管にも、本品は極めてかちなるものである。</p>  <p>十二袋入一箱 金壹圓貳拾錢</p>	<p>佳 い 句 ひ</p> <h2>新案特許保護製大冢商店鑑製 ミツワ水枕</h2> <p>みつわ。みづ。まくら。改良特製。金參圓九拾錢。</p> <p>栓口は新案特許の完全なもので故に絶対永久に水の漏る虞のないこと</p> <p>本品は枕の内、面を二層に分け、中へ水を注入すると、自然四角形になるやうに配してあるので、往來の本枕のやうに左右に動揺することなく、それ兩端が高くなり中央が凹んで居ながら、頭を冷やす効力が半分ぐ實に強である。それから之に押ひてある橡皮は極めて何れでも容易に取扱ふことが出来る。</p>  <p>口が廣いから對水が入れ易く而も永く用ひて破損せぬが本品の特長</p> <p>○ミツワ石鹸小舖 丸見屋商店 東京市銀座区西馬場五丁目 電話三〇八號所</p>
---	---	--

